

読書ボランティア紹介



おはなしボランティアゆめこじ (あだたらふるさとホール)

子ども読書推進のために



おはなしボランティアゆめこじ (大玉村)

平成 28 年 6 月 5 日 (日) 訪問

登録人数

20名 (H28.6 現在)

創設年月

平成 16 年 4 月

活動場所

あだたらふるさとホール、大山公民館

活動内容

よみきかせ、かみしばい、ペープサート
パネルシアター、工作、歌、年中行事再現



代表者が平成 11 年に行政担当としてあだたらふるさとホールのおはなしボランティア活動に携わり、その後ボランティアとしての土台作りの研修等を実施し、平成 16 年におはなしボランティア「ゆめこじ」を発足しました。「ゆめこじ」の名は㊦㊦を運ぶ㊦㊦はん(こじはんとは福島の方言でおやつのこと)に由来しています。おはなし会では読み聞かせや紙芝居だけに止まらず、年中行事再現、工作、季節の歌、ゲームなど地域の方との交流や活動を伴う内容も取り入れ、参加者が広く楽しめるよう工夫されています。おはなし会には毎回多くの方が参加し、その後参加された方がボランティア活動に携わるなど、地域から必要とされまた地域から愛されている団体です。

活動の実際

訪問当日は定例のおはなし会が行われました。開始前に参加した子どもたちとボランティアさんが談笑するなど、大変和やかな雰囲気の中でおはなし会はスタートしました。プログラムは、大型紙芝居、ペープサート、工作、季節の歌、ゲームで 60 分間の内容です。紙芝居、ペープサートでは、ボランティアさんは子どもたちの反応を楽しみながら話を進め、読み手と聞き手が一体となったおはなしでした。工作やゲームを通して親子でたくさん言葉を交わし、また様々な学年の子や保護者以外の大人の方と交流できるのも、この会のよさであると感じました。会の終了後には、施設内の図書室で本を手にする親子もありました。ボランティアさんの協力により、あだたらふるさとホールにおいて、子どもの読書を推進する活動が行われていることが参観できました。

おはなし会の様子は毎回新聞として発行され地域に配布されるなど、行政がボランティアさんの活動をしっかりと支えています。

